

—Scouting Never Stops

いつの日も歩みを止めることなく、前へ進んでいきましょう。

次の週末、みなさんはどう過ごす予定ですか？
こちら（東京）は、緊急事態宣言の発表を受け、
普段の春とは全く異なる雰囲気、街全体が包ま
ることになりそうです。

活動自粛が始まってからもう、ひと月以上が
経ちました。しかしながら、新型コロナウイルスの
感染拡大は止まらず、街の状況をみなが
らの自粛継続をお願いしたところです。
私たちはみな、事態の沈静化に向けて協力し
ていかねばなりません。



日本連盟コミッショナー

福嶋 正己

このような事態だからこそ、スカウティングの原点に立ち返りたいと思います。
私たちの「活動」は、決して、集まらなければできないものばかりではありません。
一人でも、自宅でも、できることはたくさんあります。

ビーバースカウトのみんな、ビーバーノートをひろげて、よんでみてください。そこには、おうちでできることがたくさんあります。おとうさん・おかあさんと一緒に、はじめてみてください。

カブスカウトのみなさん、カブブックを読んで、あたらしいことにチャレンジしてみましょう。家の中でなければできないこともたくさんあります。取り組んだらほご者の方にサインしてもらい、それを次の隊集会で、隊長に見せてください。隊長はきっと喜ぶ

でしょう。

ボーイスカウトの諸君、新しくなったスカウトハンドブックを手に、これまで学んだ技能がきちんと身についているか、確認しましょう。また、班長はぜひ、班員の近況を確認してください。電話でも LINE でも、ほんの一言の声掛けが班の絆を深めます。

ベンチャースカウトの皆さんにはぜひ、次のプロジェクトへの考察を深めるほかに、「いまの社会に対して、私達に何ができるのか」ということに、思いを巡らせてみてください。

ローバースカウトの皆さんなら、顔を合わせずとも SNS などで繋がり合うのも容易なことでしょう。

ぜひ、「いまの社会に対して何ができるのか」話し合ってみてください。

家でもできること・一人でもできることは、たくさんあります。

集会のときだけではなく、私達は、つねにスカウトです。

こんなときだからこそ、ひとりひとりがちかいやおきてを実践し、身近な「善行」を行うことで、あなたの家族の明日と、社会の明日を守り・創ることに繋がります。

まずは自ら率先して考え、行動する。さらには、家族など周囲の人を巻き込み、いまの社会をより良きものにしていく。

それが、スカウトらしい姿なのではないでしょうか。